



青山学院女子短期大学

Aoyama Gakuin Women's Junior College

※2019年度より本科および専攻科学生募集を順次停止

青山学院女子短期大学の教育理念

女子短期大学は、青山学院のキリスト教の信仰にもとづき、「女子小学校」から「青山学院」を経て現在に至る本学院の女子教育の伝統を継承し、女子の高等教育に専念する。本学は、愛と奉仕に生き、社会のあらゆる局面で積極的な貢献をなし得る覚醒した女性の育成を目指し、現実在即した有用な専門の学芸のみならず、全人的で世界的な視野に立つ高度な教養教育を授ける。

女子高等教育の伝統を受け継ぎ、 21世紀に生きる女性の「人間のちから」を育成

明治初期、日本ではまだ女子教育が重視されていない時代に創立された「女子小学校」を最も古い源流とする本学院は、1950年に青山学院女子短期大学を開校しました。これまで社会のさまざまな分野で活躍する優秀な卒業生を輩出し、わが国の女子短期大学の中で、常にシンボリックな存在として、その使命を果たしてきました。そして今、21世紀に生きる女性の「人間のちから」を育成するために、「現代教養学科」と「子ども学科」の2学科からなる学びでその伝統を受け継いでいます。両学科ともに卒業論文・卒業制作を完成させるゼミナールが全学生の必修であるなど、少人数教育を推進しています。

現代教養学科

現代教養学科は「日本専攻」「国際専攻」「人間社会専攻」の3専攻を設置しています。各専攻はあくまでも学びの軸であり、一人ひとりの興味・関心のある科目を専攻の枠にとらわれず横断的に履修できる、自由度の高いカリキュラムが組まれています。

日本専攻

言葉と文化、社会現象や歴史、文化・社会・言語の比較を通して「日本についての深い教養」と「日本語力」を身につけ、歴史的・世

界的な視野から日本の文化や社会を見つめ直す力をもった人間の育成をめざします。また、少人数制による徹底した読解トレーニングにより他者の思考を読みとり、コミュニケーションする力を養います。

国際専攻

「広く世界の文化や社会を理解し、多様な価値観をもつ人々と対話できる教養」と「英語運用能力」を身につけることで、積極的に世界に羽ばたく力をもった人間の育成をめざします。また、外国人教員による集中的・総合的な少人数クラスの英語授業を通して、バランスのよい英語力を身につけることができます。

人間社会専攻

人間と社会について、環境と生活を交えた視点から学び、「現代社会を総合的に読み解く教養」を身につけ、「現代社会の諸問題を長期的で多角的な視点によって解決しうる力」をもった人間の育成をめざします。また、オムニバス方式による「人間社会研究」では、総合的な判断力を養います。

子ども学科

子ども学科は、「人間の原点としての子ども」を座標軸の中心に据えて、3年間の有機的に構築されたカリキュラムにより、人間とは？ 社会とは？ の問いについてゆっくりじっくり考え、学んでいこうとする学科です。

専門科目には子どもの成長・発達と、それを促すさまざまな文化・芸術についての広範囲な子ども学関連の授業を開講しています。将来、幼稚園教諭や保育士として子どもの保育に携わることをめざす人はもちろん、児童文化・福祉など子ども関連の職業に就きたい人にも十分にえられる学びの構造を用意しています。

女子短期大学卒業後の専攻科での学び

卒業後の進路のひとつとして、現代教養専攻（1年制）、多元文化専攻（2年制）、子ども学専攻（1年制）の3つの認定専攻科があります。認定専攻科とは、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた専攻科のことで、短期大学の学科と認定専攻科を合わせて4年以上にわたる学修によって所定の単位を修得することなどで、4年制大学を卒業するのと同じ学士の学位を取得することができます。子ども学専攻では幼稚園教諭1種免許状の取得が可能です。

※本科および専攻科学生募集停止について

本科現代教養学科（日本専攻、国際専攻、人間社会専攻）および子ども学科については、2019年度以降学生募集を停止しました。

専攻科については、多元文化専攻は2020年度以降、現代教養専攻は2021年度以降、それぞれ学生募集を停止しました。子ども学専攻は2022年度以降、学生募集を停止します。

女子短期大学ウェブサイト <http://www.luce.aoyama.ac.jp/> TEL. 03-3409-7066（庶務課）